

## 九州地区実験動物技術研修会のオンライン開催での試み

2020年度の九州地区実験動物技術研修会は、受講生12名及び講師5名（その他講師5名）という体制のもとで、9月5日（土）の一日間の日程で無事に終わることができました。ご協力頂きました九州地区の実験動物関連の企業の方々にも深くお礼申し上げます。

九州地区における実験動物技術研修会は、当初は公益社団法人日本実験動物協会（日動協）主催により通信教育の一環として15年以上実施されてきました。その後、一般社団法人日本実験動物技術者協会（実技協）九州支部がこの研修会の事業を引き継ぎ今回で25回目を数えます。したがって、本研修会は日動協主催時代を含めると、40年以上継続されている歴史と実績のある研修会です。

世界中で感染拡大している新型コロナウイルス感染症（COVID-19）により、様々な学会や実技協の各支部独自の技術研修会も中止となりました。

同様に本研修会も本年は通常開催ができない状況となり、講師及び日本実験動物技術者協会九州支部役員等に協議した結果、参加される皆様の安全を最優先に考え、本年の対面での本研修会の実施を断念することとなりました。

しかしながら、実験動物1、2級技術者認定試験が一部方法を変え実施されること、6月時点で本研修会への受講申込者（19名）の中にも受験予定者がいることを考慮し、基礎に受験対策を盛り込んだ内容のオンラインによる研修を1日のみ開催することを検討・準備いたしました。カリキュラム立案の際には、受講者の皆様の参加の目的が少しでも達成されるように、講義のみではなく、日本実験動物協会や日本実験動物技術者協会関西支部が作成されたビデオ教材の動画や、マウス・ラットのシミュレータを用いた実技デモの動画なども取り入れた研修会を企画いたしました。

その結果、研修会終了後の受講者アンケート結果において、  
オンライン開催：技術研修会の新たな方法として、あり 58.3% なし 41.7%  
カリキュラム構成：満足 42% 不満 58%  
研修内容：満足 25% 不満 75%  
講師の知識・スキル：満足 58% 不満 42%  
参加費：高い 0% 適正 100% 安い 0%

とある程度の評価をいただくことができました。オンラインという手軽さ（自宅でも受講可）、知識習得及び情報収集（実験動物2級技術者認定試験の情報含）などの点では高評価でしたが、一方で、対面での通常開催を望む声も多くあり、手技のライブ配信、双方向での情報のやり取りなど工夫してほしいとの意見もありました。

本年は、新型コロナウイルスの影響への新たな挑戦として、九州地区実験動物技術研修会をオンライン開催で試みました。来年以降、基本的には通常開催をすることを検討いたしますが、新型コロナウイルスの影響により再び通常開催が困難となった場合や、研修会場にご来場できない方への対応として、今回の実施結果を踏まえ、様々な手段を駆使した技術研修を企画・開催して参ります。

今回の本研修会について、2020年11月15日に開催される日本実験動物技術者協会九州支部研究発表会Web大会にて、「コロナ禍における実験動物技術研修会のオンラインによる開催の試み」にて、ご報告させて頂きたいと思っております。是非、日本実験動物技術者協会九州支部研究発表会Web大会にもご参加ください。

本技術研修会の運営につきまして、いろいろな考え方があるかと思えます。九州でご活躍されている実験動物技術者の方々のご意見をできるだけ反映させていきたいと考えておりますので、ぜひいろいろなご意見やご要望をお聞かせ頂きたいと思っております。九州支部事務局までご一報頂ければと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

開催日時 令和2年9月5日（土）  
開催場所 Zoomミーティング  
主任講師 浦野 徹 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 生理学研究所 研究力強化戦略室 特任教授、(獣医学博士)  
講師\* 野口 和浩 熊本大学大学院生命科学研究部、生体微細構築学分野 助教（医学博士）  
荒木 栄一 株式会社LSIメディエンス（実験動物技術指導員）  
進村 美穂 KMバイオロジクス株式会社（実験動物1級技術者）  
若松 真矢 株式会社新日本科学（実験動物技術指導員）  
中村 直子 熊本大学生命資源研究・支援センター 動物資源開発研究部門  
島津 伸也 株式会社LSIメディエンス（実験動物技術指導員）  
立部 誉 鹿児島大学研究推進機構研究支援センター（実験動物1級技術者）  
菅田 恵理世 株式会社新日本科学（実験動物1級技術者）  
会場担当講師\* 松本 珠美 熊本保健科学大学 医学検査学科 准教授  
\* 敬称略・順不同  
協力機関\*\* 日本実験動物技術者協会九州支部、日本実験動物協同組合九州支部、熊本大学生命資源研究・支援センター、熊本保健科学大学、九動株式会社、日本エスエルシー株式会社、株式会社 ケービーティーオリエンタル、株式会社 LSIメディエンス、株式会社 新日本科学 \* \* 順不同

受講者数 受講者数：12名（実技協会員：2名、賛助・組合員：2名、非会員：8名）

受講費（テキスト代込み）  
会員（日本実験動物技術者協会、賛助・組合員）：1,000円  
非会員：2,000円  
＜今回、初めてのオンライン開催のため格安にて実施しております。＞

研修会使用動物種（通常開催の場合 本研修会では使用していません。）  
マウス（成獣及び幼若動物）・ラット・ハムスター・モルモット・ウサギ



通常開催時は、九動株式会社・株式会社ケービーティーオリエンタル・日本エスエルシー株式会社より無償にてご提供いただいております。  
ご支援誠にありがとうございます。

研修日程  
2020年9月5日 8:30～18:00

- ① 開講式・オリエンテーション
- ② 概論講義（浦野）  
動物福祉、法規、環境条件の基準値、実験用動物の分類、遺伝及び微生物的統御の分類等
- ③ 実験に用いられる実験動物の種類紹介（若松）
- ④ 実験動物器材等の紹介（若松）
- ⑤ ビニールアイソレータと環境因子測定機器について（野口）
- ⑥ 検収・検疫、毛色遺伝子、処置馴化、保定、性別判定、個体識別（野口）
- ⑦ 保定、性別判定、個体識別（ビデオ視聴（日本実験動物協会作製））（野口）
- ⑧ ミツキー、夏目ラットによるハンドリング・処置馴化（若松）
- ⑨ 投与、採血（ビデオ視聴（関西支部作製））（進村）
- ⑩ 投与、採血（荒木）
- ⑪ 麻醉法、安楽死法、解剖（若松）
- ⑫ 解剖（ビデオ視聴（日本実験動物協会作製））（若松）
- ⑬ 質疑応答
- ⑭ 閉校式（修了証書授与含む）

